

国際線予約、一転再開へ

首相、混乱招いたと陳謝

オミクロン水際対策迷走 停止要請、国交省「独断」

【共同】国土交通省は2日、日本に到着する国際線の新規予約受け付けを再開すると発表した。新型コロナウイルスの「オミクロン株」の水際対策として航空各社に求めた一律の停止要請をわずか3日で一転して撤回し、邦人の帰国需要に対応する。国交省は「停止要請は航空局の独自判断だった」とし、斉藤鉄夫国交相や首相官邸へも事後報告した。感染拡大を防ぐ根幹の水際対策が迷走。年末年始は帰国者が多く、邦人入国を巡って混乱が続く可能性もある。

岸田文雄首相は官邸で記者団に「二部の方に混乱を招いた」と陳謝。斉藤氏も省内での取材に「国民生活に大きな影響を与え、国交省の責任者として大変申し訳ない」と語った。

国交省は、1日当たり3500人とする入国者数制限内で、余裕のある週や曜日を中心に新規予約受け付けを再開する見込み。希望者全員が帰国できるような状況を整え、入国禁止で見込まれる外国人の予約キャンセルも活用する。

ただ各社の予約状況や検疫体制の確保が必要で、2日中の受け付け再開は難しいとされている。全日本空輸、日本航空は同日中の再開を見送った。12月は多くの日の予約が上乗せまで埋まっていた。希望者全員が帰国できるような状況を整え、入国禁止で見込まれる外国人の予約キャンセルも活用する。

政府は11月29日、1日当たりの入国者数制限を12月1日以降、5千人から3500人に引き下げると発表。国交省は制限を超えないよう「その日のうちに、まず最初のステップとして停止する必要がある」と判断。11月29日の国内の航空会社に新規予約の受け付けを12月末日まで停止するよう要請した。

しかし、予約をしていない海外の日本人駐在員、出張者から年内に帰国できなくなるとの声が相次いだ。国交省は1日の政府会合で事後報告したが、松野博一官房長官は「国民生活に大きく影響を与えることについては慎重に対応すべきだ」と分かった。広島市の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんの遺族が発表。民間で寄付を募り2022年夏に広島原爆の「残り火」を真珠湾攻撃があった米ハワイに建設予定のモニュメントに分火する計画が進められていることが2日分かった。広島市の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんの遺族が発表。民間で寄付を募り2022年夏に広島原爆の「残り火」を真珠湾攻撃があった米ハワイに建設予定のモニュメントに分火する計画が進められていることが2日分かった。



岸田文雄首相は官邸で記者団に「二部の方に混乱を招いた」と陳謝。斉藤氏も省内での取材に「国民生活に大きな影響を与え、国交省の責任者として大変申し訳ない」と語った。

【共同】日本に到着する国際線の新規予約受け付けを再開すると発表した。新型コロナウイルスの「オミクロン株」の水際対策として航空各社に求めた一律の停止要請をわずか3日で一転して撤回し、邦人の帰国需要に対応する。国交省は「停止要請は航空局の独自判断だった」とし、斉藤鉄夫国交相や首相官邸へも事後報告した。感染拡大を防ぐ根幹の水際対策が迷走。年末年始は帰国者が多く、邦人入国を巡って混乱が続く可能性もある。

原爆の残り火をハワイへ 真珠湾80年、禎子さん遺族

【共同】福岡県八女市星野村にある「平和の塔」でも「残り火」を広島原爆の「残り火」を真珠湾攻撃があった米ハワイに建設予定のモニュメントに分火する計画が進められていることが2日分かった。広島市の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんの遺族が発表。民間で寄付を募り2022年夏に広島原爆の「残り火」を真珠湾攻撃があった米ハワイに建設予定のモニュメントに分火する計画が進められていることが2日分かった。

原爆の残り火をハワイへ 真珠湾80年、禎子さん遺族

【共同】福岡県八女市星野村にある「平和の塔」でも「残り火」を広島原爆の「残り火」を真珠湾攻撃があった米ハワイに建設予定のモニュメントに分火する計画が進められていることが2日分かった。広島市の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんの遺族が発表。民間で寄付を募り2022年夏に広島原爆の「残り火」を真珠湾攻撃があった米ハワイに建設予定のモニュメントに分火する計画が進められていることが2日分かった。

【共同】日本に到着する国際線の新規予約受け付けを再開すると発表した。新型コロナウイルスの「オミクロン株」の水際対策として航空各社に求めた一律の停止要請をわずか3日で一転して撤回し、邦人の帰国需要に対応する。国交省は「停止要請は航空局の独自判断だった」とし、斉藤鉄夫国交相や首相官邸へも事後報告した。感染拡大を防ぐ根幹の水際対策が迷走。年末年始は帰国者が多く、邦人入国を巡って混乱が続く可能性もある。



海外から到着し、検査を待つ到着客ら。国交省は航空各社に求めた国際線新規予約受け付けの一律停止要請を撤回した(共同)

米、オミクロン感染初確認

世界に急拡大、対策厳格化

【ワシントン共同】米政府は1日、新型コロナウイルスの新たな変異株オミクロン株の感染が初めて米国国内で確認されたと発表した。オミクロン株の感染は南アフリカで初めて報告されたから欧州や日本を含むアジア、中東など世界各地に急拡大し、カナダを含め北米にも広がった。米政府は2日、全ての入国者に出発前1日以内の検査を義務付けるなど水際対策の厳格化を発表した。各国は相次いで渡航制限などを強めた。しかし、国連などはこうした対応に懸念を募らせており、世界保健機関(WHO)は1日、日本が導入した全世界を対象とする外国人入国禁止措置について、感染可能性は国籍で判断できないと指摘し「理解困難」と批判した。米政府が義務付ける1日以内のウイルス検査は米国人も対象で、ワクチン接種を完了したかどうかも問わない。現在は接種完了者なら出発前3日以内の検査となっている。一方、11月29日から南アフリカから南米や欧州などへの渡航を制限する措置を講じたが、対象国を増やす方針は当面見送られる。米政府によると、米国の感染者は南アフリカから11月22日に戻り、カリフォルニア州で自己隔離。ワクチン接種を完了し、追加接種を受けていなかった。症状は軽く、改善している。11月29日に陽性反応が出たことから調べていた。接触した人は全員陰性だったという。米政府は世界規模でワクチン接種を進めなければならないと強調している。途上国を中心にワクチン供給を加速して今後100日間で2億回分の無償提供することも新たな対策に盛り込んだ。バイデン政権の医療顧問トップ、フアウチ国立アレルギー感染症研究所長は、今月1日の記者会見で、初めて確認されたオミクロン株の感染者が軽症であることなどを念頭に、「いかにワクチン接種が重要であるかを示す例」と指摘し、追加接種の促進や屋内でのマスク着用を呼び掛けた。

WHO、日本の措置批判

【共同】日本に到着する国際線の新規予約受け付けを再開すると発表した。新型コロナウイルスの「オミクロン株」の水際対策として航空各社に求めた一律の停止要請をわずか3日で一転して撤回し、邦人の帰国需要に対応する。国交省は「停止要請は航空局の独自判断だった」とし、斉藤鉄夫国交相や首相官邸へも事後報告した。感染拡大を防ぐ根幹の水際対策が迷走。年末年始は帰国者が多く、邦人入国を巡って混乱が続く可能性もある。



広島原爆の「残り火」がとまされた「平和の塔」。11月、福岡県八女市

テニス、中国開催見合わせ

【ジュネーブ共同】井上将志「テニスの女子ツアー」を統括する女子テニス協会(WTA)は1日、中国の元副首相に性的関係を強要されたと告白した同国選手、彭帥さんの安否が懸念される中で、香港を含む中国での全ての大会の開催を見合わせると発表した。ステイブ・サイモン最高経営責任者(CEO)は「中国の指導部は非常に深刻な問題に、信頼できる方法で対処していない」と非難、女性の権利に関する問題で厳しい態度をとる姿勢を鮮明にした。

日本代表、栗山監督を発表

【共同】野球日本代表「WBC優勝に全力」の新監督に今季までプロ「執った栗山英樹氏(60)」が就任したと2日、発表された。任期は2023年に予定されるワールド・ベースボール・クラシック(WBC)まで。東京都内記者会見した栗山監督は「責任を心の底から感じて、WBCで優勝できるように全力を尽くす」と緊張した面持ちで述べた。

春場所、2年ぶりに大阪で

【共同】日本相撲協会は2日、東京・両国国技館で定例理事会を開き、大相撲春場所(来年3月13日初日)をエディオンアリーナ大阪で実施すると発表した。大阪府での開催は2年ぶりとなる。観客上限は定員約7300人の約75%。芝田山部長は「今のところ、状況を見ていく」と述べた。昨年の大相撲は5月の夏場所を中止し、7月場所から2場所は観客上限を収容人数の4分の1程度で行い、11月場所以降は半分ほどの観客で開催した。今年7月の名古屋場所も引き続き、11月場所は福岡県で九州場所を実施。来年の春場所も地方場所以て再開される。

出稽古再開は「厳しい」

【共同】日本相撲協会の芝田山部長は「元横綱大乃国」は2日、報道陣の取材に「新型コロナウイルス禍で禁止となっていた各部屋住みの出稽古の再開について、現時点では難しい」と述べた。新しき「変異」株が出てきたことも含め、非常に難しいという感染症の先生方の話もある」と否定的な見解を示した。2日には新型コロナウイルス対策のガイドラインが改訂されたが、出稽古解禁に関する項目はなかった。11月29日には横綱審議委員会が早期再開を要請していた。

菊池涼が9年連続受賞

【共同】プロ野球の守備のベストナインを選出する「ゴールデングラブ賞」が2日に発表され、広島が菊池涼介二塁手が9年連続で受賞を果たした。西武の辻彦彦監督の8度目を抜いて単独で二塁手の最多受賞となった。オリックスの山本由伸投手とソフトバンクの近藤光司投手、巨人の岡本和真三塁手、阪神の近藤光司投手、楽天の辰己涼介外野手の6人が初受賞した。中日の大島洋平外野手は9度目、ソフトバンクの柳田悠岐外野手は6度目の選出となった。

野菜のグリルサラダ

【共同】

●材料 (2人分)

カブ	1/2 個
芽キャベツとマッシュルーム	各 2 個
グリーンリーフ	30g
A みじん切りにしたピクルス	20g
マスタードと酢	各 小さじ 1
蜂蜜	小さじ 1/2
黒こしょう	少々

●作り方

カブはくし形に、芽キャベツとマッシュルームは縦半分にそれぞれ切ります。Aは合わせてドレッシングを作ります。フライパンにオリーブ油小さじ1/2を入れて熱し、カブ、芽キャベツ、マッシュルームを焼き色が付くまで中火で焼きます。焼けた順にパットなどに取り出し、粗熱を取ります。一口大に切ったグリーンリーフを皿に敷いてカブ、芽キャベツ、マッシュルームを彩りよく盛り付け、ドレッシングをかけます。(レシピと写真・ABCクッキングスタジオ)

1人分47kcal、塩分0.2g

